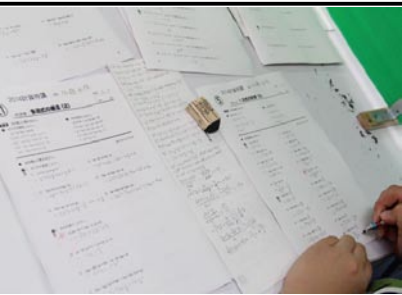




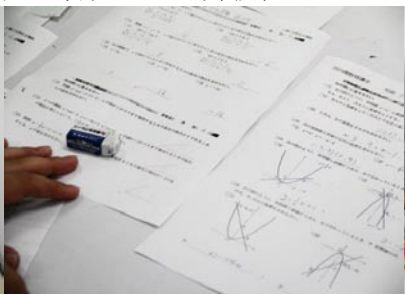
10/4 土曜日 13時～17時まで 中3生学力Bテスト対策授業



10/11 中3生 計算特講で670題を解く



10/25 土曜日 13時～17時まで 中3生重要な単元の関数特講の第1回目

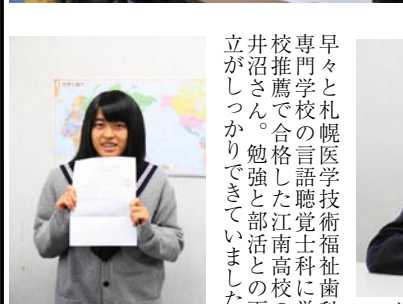


10/24 第二回漢字検定を受ける小学生



6期生、野澤君の長女の美羽ちゃん(小2)も漢検を受検

中3生、30、31日6時から9時、1日は1時から5時で学力C対策授業



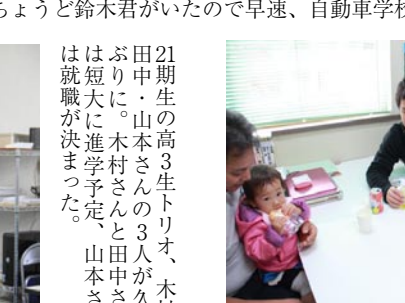
早々と札幌医学技術福祉専門学校推薦で合格した江南高校の井沼さん。勉強と部活との両立がしっかりできていました。



ちょうど鈴木君がいたので早速、自動車学校の申し込みをしました。



6期生でKDS指導員の鈴木君、試験を受けるので勉強してきました。(社会人になっても試験はあります)



21期生の高3生トリオ、木村・田中・山本さんの3人が久しぶりに。木村さんと田中さんは短大に進学予定、山本さんは就職が決まりました。

5期生で大学卒業後、ツルハに就職し、現在は函館で店長をしている畑本君が奥さんと5歳、1歳8ヶ月の子供と一緒にきてくれました。

★小学校低学年からの英語教育★
小学五年生から行われている「英語の授業」に関して、文部科学省の有識者会議は九月、三年生からに前倒しするよう提言した。さらに早い幼児期からの英語教育に力を入れる家庭もあるなど、英語熱が高まっている。日本語を十分に習得できていない幼児や児童が英語に触れることで、どんな効果が得られるのか。幼稚園経営者らでつくる全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長の田中雅道さん(38)に聞いた。

「田中さんが園長を務める光明幼稚園(京都市)では、園児が英語に触れる機会はありませんか。」
「いわゆる英語の授業はしていませんが、英語圏出身で日本に滞在する外国人学生インターンを受け入れており、学生と子どもたちが三、四カ月間過ごします。」

一緒に授業を受けたり遊んだりする中で、子どもたちは「こんな言葉をしやべっている人がいるんだ」と驚き、感動します。

「どんな影響？」
「子どもが英語で簡単なあいさつなどでコミュニケーションが取れると、一部の子どもは英語を学んでみたいと思いはじめます。そういう感動体験が幼児期には大切ですね。親は、忘れてもいいけれど、よい経験になるのではというぐらいの気持ちで、英語に触れさせるのはいいのではないのでしょうか。」

「中学、高校の六年間で英語が身に付かなかった親世代は、早期教育に希望を見たいところなんです。言葉は思考言語としての役割と、コミュニケーションツールに分けられます。幼児期は、単語同士を結びつけて、より複雑な構造を理解する時期。例えば

お母さんが「先生にお手紙書くからえんぴつ持ってきてくれる？」という言葉かけが、四歳ぐらいで重要になる。「えんぴつ」という単語は知っていても、それが「書く」という言葉と結びつけられるかは違います。

理想は「えんぴつはないけど、ボールペンでいい？」と返せることです。そういう言葉の概念や応用する習得していくということなんです。しかし母語(日本人にとっての日本語)が安定していない段階で、第二言語の習得をメインに入れてしまうと幼児にとつては混乱につながる可能性があると思います。

「コミュニケーションツールとしての英語の習得は大きくなってからでも可能？」
「思考言語が安定した後でも身に付けることができると。コミュニケーションは言葉だけではなく人との

関係を築く力も必要。焦って始めなくてもいいと思う。子どもは吸収力には驚かされます。

「子どもは確かにいろいろなことを覚えます。よく男の子で車の車種や電車の形とかを全部覚えていたりします。しかしだいたい小学生のうちに忘れてしまします。「記憶の選定」という言い方をしますが、一度ためた記憶は自分の生活の役に立つものは残りますが、そうでないものは忘れてしまします。パソコンという一度整理してバージョンアップするのと同じです。親が英語を話す環境にある子は生涯残ると思います。(中日新聞10月7日より)

母語が安定していない状態での英語教育に何の意味があるのだろう。もつと豊かに日本語を使えるようになってからでも、何の問題も無い。なぜ急ぐのだろうか？

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土
休塾	★中3特講					勤労感謝の日振替休日 休塾	休塾	★中3土曜特講 電流	■桜が丘中定期(21)	■青陵・付属中定期 ■江南高校定期(28)		■北中定期(19)	■富原・鳥取西中定期(18)	休塾	★中3土曜特講 関数②					■鳥取中3年定期(11)	休塾	●定期対策一〇〇〇分特講(希望者)	休塾	●定期一〇〇〇分特講(希望者)		■中3第3回道コン	休塾	●中3学力C対策	

携帯電話の教習所持禁止
連絡は塾の電話を使用して下さい。

11月の予定

宮本哲也流 賢い子どもを育てるには

<1>何が子どもの学習本能を「殺す」のか

わが子を賢い子に育てたいというのは多くの親の願いだ。子どもに対して、親がすべきこととすべきでないことについて、多くの教え子を難関中学へ送り出している「宮本算数教室」主宰の宮本哲也氏に聞いた。

(9月9日に行われた森上教育研究所主宰の「わが子が伸びる親の『技』(スキル)研究会」での宮本氏の講演を元に再構成)

◇勉強嫌いは親のせい

子どもの学習において、大事なことはたった二つです。やりたいことはとことんやる、やりたくないことは一切やらない、子どもをそういう状態に持っていくこと。あれもやらせなきゃ、これもやらせなきゃと親が余計なことをすればするほど、子どもの学習本能は衰弱し、そこに義務感が生じると、学習本能は死んでしまいます。押し付けられたと感じた瞬間、それまで大好きだったものが、瞬時に大嫌いになってしまう。

それは、すべて親が悪いんです。自分の欲望を満たすために子どもを都合のよいように利用するのは、言語道断です。自分で決めたことは頑張れるけど、人に押し付けられたことは頑張れない。全く同じことをやるにしても、自分でこれやろうと決めたのと、人からこれをやりなさいと押し付けられてやるのとでは、気持ちの入り方が全然違う。皆さんも似たような経験をされたことがあるのではないのでしょうか。

ある男の子は、小3、小4のころは、非常によくものを考える、賢い優秀な子でしたが、5年のある日から急にものを考えなくなってしまった。成績もどんどん下がり、持ち直すことなく、結局第4志望校に進学しました。入試の後、両親と本人が教室に来たので、どうして急に考えなくなったの、と尋ねると、その子は「算数は大好きだったけど、親にやらされてるんだと感じた瞬間、大嫌いになった」と言いました。彼は今、楽しい学園生活を送っているようですが、こういったことが高じて、深刻な家庭内暴力に発展したケースもあるのです。

◇もし子どもを自由に操れたら？

たとえば、自分の子どもを自由に操れる機械ができたら、欲しいでしょうか。いつも自分の手元に子どもを動かすコントローラーがある。朝になり、「起きろ」とボタンを押すとパッと起きる。学校から帰ると「宿題!」。成績は伸び、たとえば筑波大附属駒場に進学する。その後も、勉強しろ、(東大の)理三に入れ。研究しろ、ノーベル賞を取れ……全部うまくいってしまう。たいてい親のほうが先に死にます。死ぬ間際になって、子どもを呼んで「お母さん楽しかったわ。ありがとう。これからあなたの好きなように生きていいからね」とコントローラーを子どもに渡して息を引き取る。自分のコントローラーを渡された子どもは、その後どうやって生きていくのでしょうか。自分で考えたことも判断したことも、自発的に行動したこともない。そのまま餓死してしまうかもしれません。

子どもを自分の思い通りに動かしたい、育てたいというよこしまな考えをお持ちの方は、いますぐ捨ててください。(続く、構成・メディア局編集部 小倉剛)

プロフィール 宮本哲也 (みやもと・てつや)

早稲田大学第一文学部卒業後、当時日本一の進学塾だったTAPに入社。SAPIX横浜初代教室長を経て、1993年、横浜に宮本算数教室設立。2009年に教室を東京に移し、今日に至る。2006年に出した「賢くなるパズル」(学研)はシリーズトータルで220万部を越えるベストセラーに。「賢くなるパズル」のメインである「計算ブロック」は英名KenKenで、世界10か国で翻訳出版されていて、読売新聞、New York Timesなど国内外の多くの新聞、雑誌に連載されている。2015年から活動の拠点をアメリカ・ニューヨークに移す予定。

YOMIURI ONLINE 10.20 より

過干渉:子どもの人生を支配「毒親」本相次ぎ出版

子どもの人生を支配するように関わる親を扱った書籍や映画が話題となっている。「毒親」あるいは「毒母」と呼ばれる人たちのことで、子ども側が体験をつづった書籍の発売が続く。公開中のルーマニア映画で、ベルリン国際映画祭の最高賞、金熊賞を受賞した「私の、息子」も過干渉な母を描いている。「毒親」とは何なのだろうか。

◇母の言動に苦しみ

漫画家の田房永子さん(35)は、実の親との決別をテーマにしたコミックエッセー「母がしんどい」(中経出版)を2012年に出版した。描かれる実母は感情の起伏が激しく、田房さんの言動が気に入らないと、柔和だった態度が急変し、

ののしられた。

習い事や家庭教師を次々とかえられたり、楽しみにしていた友人との旅行を直前にキャンセルされたりしたことも。社会人になっても、意に沿わないことがあると勤め先に電話してきて「謝れ」との言葉を浴びせられたという。

母はいつも「あなたを愛しているから」と愛情を強調。そして「私は悪くない」「言う通りにすればいい」と主張したという。

いつしか、田房さんは自分で物事を判断できなくなり、「死にたい」と思うように。「うちの親は変だと思いつつ、自分の苦しみの理由が母にあると考えたくなかった」と振り返る。

しかし、29歳の時、結婚を機に両親との決別に踏み切った。カウンセリングなどで、自分の生きづらさの原点が母親にあると理解すると、恨みがあふれた。夫に感情をぶつけてしまい、「このままでは夫を失う」と思ったのがきっかけだった。

今は住所も知らせていない。当初は「こんなことで親と縁を切っていいのか」と罪悪感を抱いたという。

女優の小川真由美さんの娘や、元アナウンサーの小島慶子さんが出版した自叙伝も、親との関係の苦しさをつづった。

映画「私の、息子」は、監督自身の母との関係を基にした作品だ。裕福なキャリアウーマンの母親が、30歳の無職の息子が起こした問題を解決しようと、自ら関係者と交渉し、恋人と同居中の息子の生活にも立ち入る。息子が一大決心をして母と距離を置こうとして、必死に訴えても母親に届かない。田房さんは「私も、この息子と同じせりふを母に言った」と語る。

◇娘を束縛、期間長く

カウンセラーの立場からこの問題を捉えた「母が重くてたまらない～墓守娘の嘆き」(春秋社)などの著書がある原宿カウンセリングセンターの信田さよ子所長は、「『毒親』になる人は、最初からひどい親だったわけではない。20年ぐらい前なら『いいお母さん』と言われたような人たちです」と指摘する。「『お母さんの望み通りの娘じゃなくてごめんね』と思っていた子どもが人権意識に目覚め、自分は悪くない、なぜ評価されないのかと思った時、その親は『毒親』になる」という。

「どうせ、あなたなんか何をやっても無駄よ」

「あなたは絶対に幸せになれない」

そんな言葉が子どもを縛るといふ。どれも他人に言われたら突き放せるが、自分の最大の理解者であるはずの母親から発せられた言葉は、重い現実味をもって響くからだ。

信田さんは、こうした親が生まれる背景の一つに高齢化社会を挙げる。親が長生きし、加えて子ども世代の未婚率が上がっているため、「親はいつまでも娘を独占できるから」。

自分が「毒親」である可能性に気付くことはできるのだろうか。信田さんは「子どもには自分の知らない世界がある、と思えるかどうか境界」と断言する。「子どもをいっぱいほめてあげる。幸せになるうね、というメッセージをいっぱい送ることが必要」という。

◇別の幸せ見つけて

田房さんは、母とはかつての母子関係に戻ってしまいそうになるため、年1回程度しか接触しない。今月、同様の体験をした人のインタビューを漫画にした「うちの母ってヘンですか?」(秋田書店)を出版した。親の執着から逃れた娘たちの思いは共通していた。

「母に不幸になってほしいわけじゃない。でも、私じゃなく、別の何かで幸せを見つけてほしい」
毎日新聞 09.23 より

11月に入って道コン、学力Cテスト、定期テストと中3生はテストが続きます。高校入試まで120日あまり、道コンの結果や学力A、B、Cの結果が出たら資料を作成し、学校の三者面談の前に一人一人と面談を行います。12月から2月の3ヶ月間が本当の受験勉強で、志望校に向かって本気で取り組みれば30点から40点のアップが可能です。安易に志望校を下げないことです。

1、2年生も学期末から学年末にかけてしっかり取り組みなければなりません。内申点(通知表の評価)は後で取り返すことはできません。普段の取り組みはもちろんのこと、定期テスト範囲の苦手な単元の学習を確実にやることです。目標点を決め取り組みなければなりません。8日、9日は1000分特講(希望者)です。



「毒親」との関係をつづった書籍=東京都千代田区の三省堂書店神保町本店で、五味香織撮影



「子どもを自分の思い通りに動かしたいというよこしまな考えは、いますぐ捨ててください」と語る宮本氏